



## 市長レポート No.276

### 暮らしやすい まちづくり

暮らしやすいまちとは一体どんなまちでしょうか。皆さんの年齢や性別、状況などでいろいろなお要望やご意見があると思いますが、私は、「職・住・遊・学」が満足していく水準でそろってなければ暮らしやすいまちとは言えないと考えています。

市民アンケートでも重要度が高かった、働く場所の確保。これが「職」です。基幹産業である農業を始め、健康に寄与する産業や環境産業など、まずは働ける場所を確保することが最優先です。先月には、県から県営工業団地拡張計画の意向を伺っており、雇用のみならず地域経済への波及効果など期待は高まる一方です。

豊かな自然に加えて、電気やガス、上下水道などのライフラインが整備されていなければなりません。これが「住」です。人と人とのつながりも重要で、今年の豪雪時には、町内会で一斉に除雪をした、お年寄りのご家庭の除雪をしたというお話を伺い、大館って人情味あふれるあったかいまちだなあと改めて感じています。

「遊」とは、自由にスポーツなどが出来る施設や、豊富な地場産品が簡単に手に入るお店のことです。市内で必要な物やサービスが全部手に入るようになれば、わざわざ遠くまで行かなくても済みます。

「学」は知識を身に付けられる施設や機会です。必要な知識を得られる教育機関や、老壮大学のような生涯学習の場も大切です。

このほかに、医療と福祉も無くてはならないものですし、薬局、はり・きゅうや整体、湯治のための温泉も必要です。福祉施設・サービスも必要不可欠で、挙げると切りがありません。

暮らしやすいまちというのは、これらすべてがバランス良くそろっているまちです。しかも、必要なものやサービスを、出来るだけ少ない負担で整備していく。それが実現出来れば、すばらしいまちになります。これからも目標実現に向けて、バランスのとれたまちづくりを進めます。

小畑 元

## ◎利用者負担はどう変わるの？

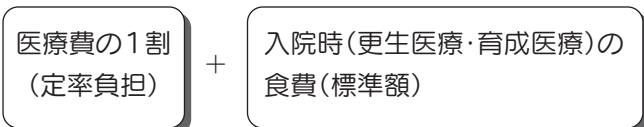
定率負担(1割)には、所得に応じて月額上限が設定されます。

### 福祉サービス(4月から)



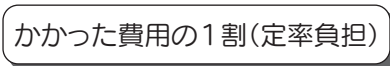
※低所得のかたを中心に一定の要件を満たした場合、負担額を軽減する仕組みがあります。

### 自立支援医療(4月から)



※一定の所得がある場合でも、医療上の必要から継続的に相当額の医療費負担が発生する場合に、負担額を軽減する仕組みがあります。

### 補装具(10月から)



## ◎サービス利用の流れはどうなるの？

